

桜島における地磁気観測（1988年8月～1995年12月）*

Geomagnetic Observation at Sakurajima

(August 1988 - December 1995)

気象庁地磁気観測所

Kakioka Magnetic Observatory

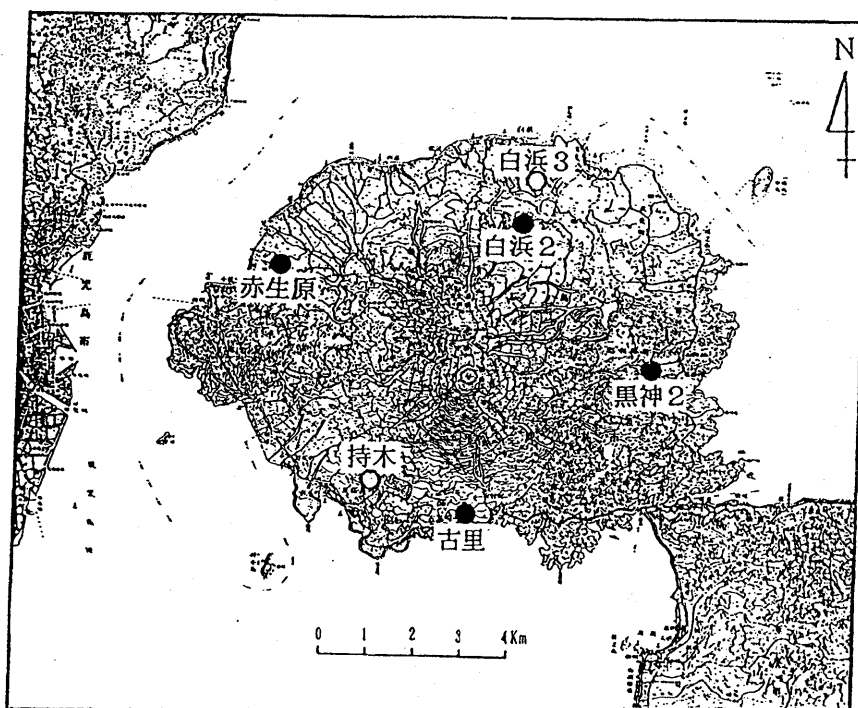
地磁気観測所（鹿屋）では、1978年5月から桜島の島内とその周辺で地磁気全磁力繰り返し観測および連続観測を行っている。これらの観測のうち、1995年1月までの観測結果については既に報告している¹⁾。今回は、1995年12月までの結果について報告する。

第1図に桜島における地磁気観測点の配置を示す。白丸（○）が連続観測点（持木、白浜3）、黒丸（●）は繰り返し観測点である。

第2図に、1988年8月から1995年12月までの持木と白浜3における連続観測の結果を示す。上から鹿屋の地磁気全磁力夜間値（00～02時）、持木、白浜3、鹿屋の各観測点の相互差、および爆発回数（JMAによる）である。同図持木－白浜3に年周期的な変化が見られるほかは、特に異常な地磁気変化は観測されていない。

参 考 文 献

- 1) 気象庁地磁気観測所（1995）：桜島における地磁気観測（1988年8月～1995年1月）、火山噴火予知連絡会会報、61、78-79。



第1図 桜島島内での地磁気観測点の分布。

○ 全磁力連続観測点

● 全磁力繰り返し観測点

Fig. 1 The distribution of the observation points.

○ continuous observation point

● repeat observation point

* Received 19 Mar., 1996

